

### 3 財別鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

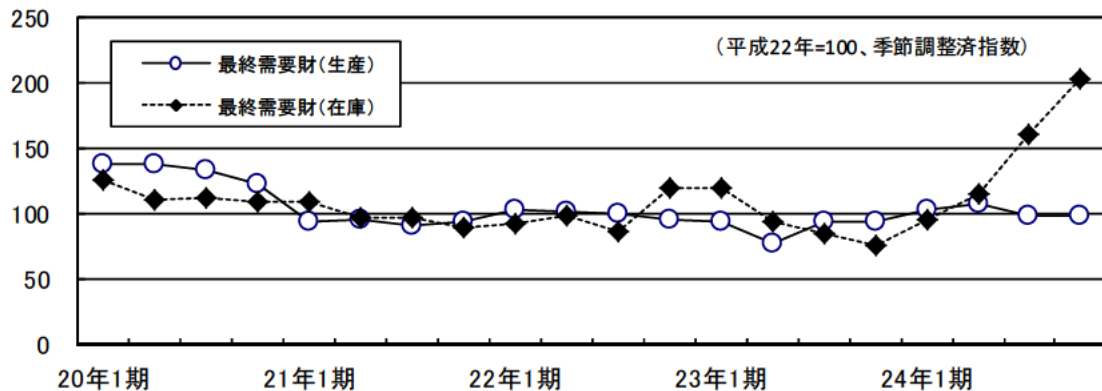
#### 1 最終需要財

平成 24 年の最終需要財の生産指数は 103.0 で、対前年比 14.1%上昇しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 103.9（対前期比 9.8%増）、2 期 107.4（同 3.4%増）、3 期 99.5（同 7.4%減）、4 期 98.9（同 0.6%減）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 144.2 で、対前年比 52.3%上昇しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 96.3（対前期比 25.4%増）、2 期 116.0（同 20.5%増）、3 期 160.9（同 38.7%増）、4 期 202.9（同 26.1%増）となりました（表 11）。



#### 1-1 投資財

平成 24 年の投資財の生産指数は 113.5 で、対前年比 4.1%上昇しました（表 5）。

また、在庫指数の年平均は 185.0 で、対前年比 68.8%上昇しました（表 7）。

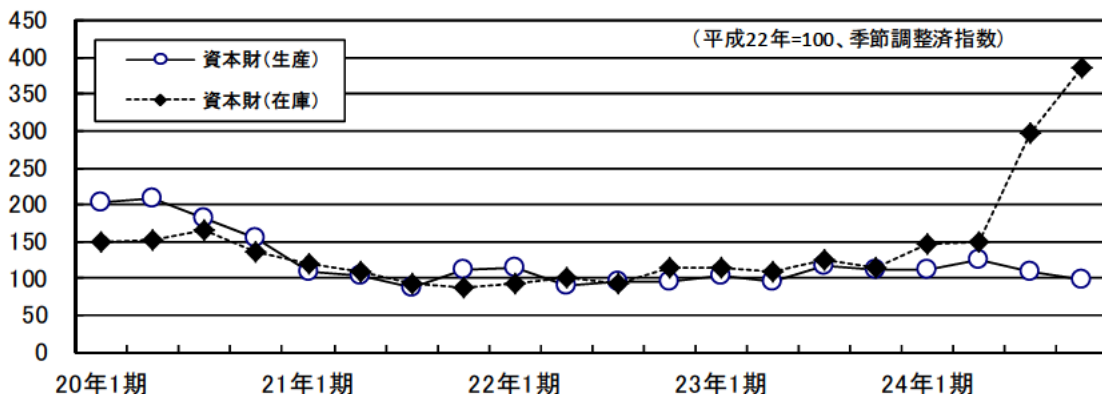
##### 1-1-1 資本財

平成 24 年の資本財の生産指数は 110.6 で、対前年比 2.9%上昇しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 111.0（対前期比 1.6%減）、2 期 126.5（同 14.0%増）、3 期 108.3（同 14.4%減）、4 期 97.4（同 10.1%減）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 246.6 で、対前年比 112.8%上昇しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 145.9（対前期比 28.1%増）、2 期 150.6（同 3.2%増）、3 期 297.5（同 97.5%増）、4 期 386.6（同 29.9%増）となりました（表 11）。



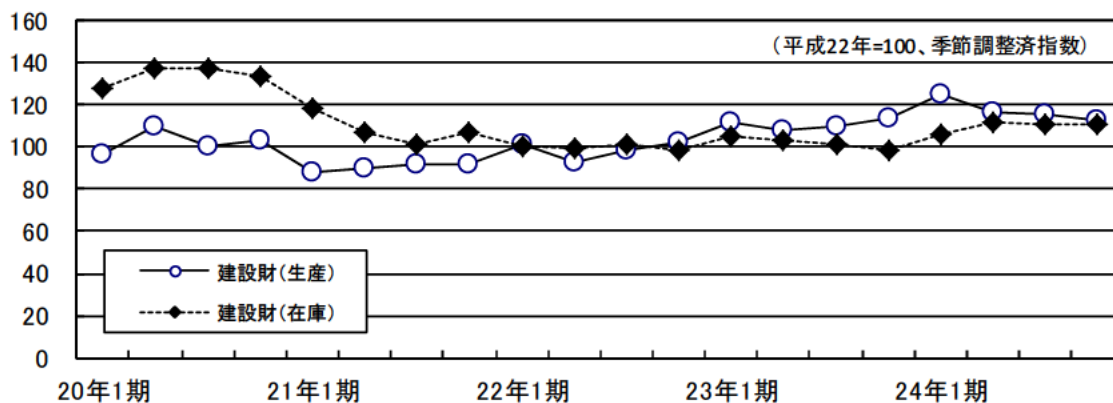
## 1-1-2 建設財

平成24年の建設財の生産指数は118.2で、対前年比6.2%上昇しました（表5）。

四半期別にみると、1期125.1（対前期比10.4%増）、2期116.2（同7.1%減）、3期115.2（同0.9%減）、4期112.4（同2.4%減）となりました（表9）。

また、在庫指数の年平均は109.7で、対前年比7.7%上昇しました（表7）。

四半期別にみると、1期106.1（対前期比8.2%増）、2期111.7（同5.3%増）、3期110.7（同0.9%減）、4期110.4（同0.3%減）となりました（表11）。



## 1-2 消費財

平成24年の消費財の生産指数は96.9で、対前年比21.7%上昇しました（表5）。

また、在庫指数の年平均は121.3で、対前年比40.6%上昇しました（表7）。

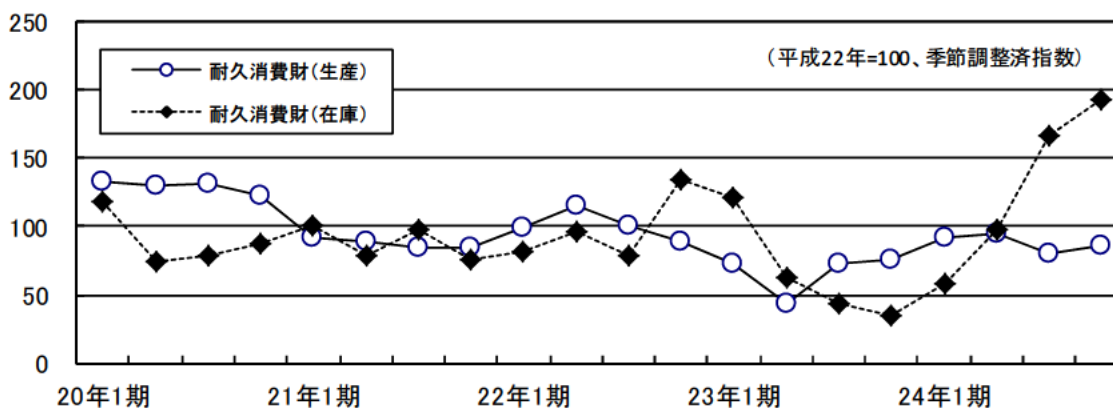
### 1-2-1 耐久消費財

平成24年の耐久消費財の生産指数は88.5で、対前年比32.1%上昇しました（表5）。

四半期別にみると、1期92.0（対前期比22.5%増）、2期94.5（同2.7%増）、3期80.5（同14.8%減）、4期86.0（同6.8%増）となりました（表9）。

また、在庫指数の年平均は124.8で、対前年比78.8%上昇しました（表7）。

四半期別にみると、1期58.7（対前期比67.2%増）、2期98.1（同67.1%増）、3期166.2（同69.4%増）、4期192.9（同16.1%増）となりました（表11）。



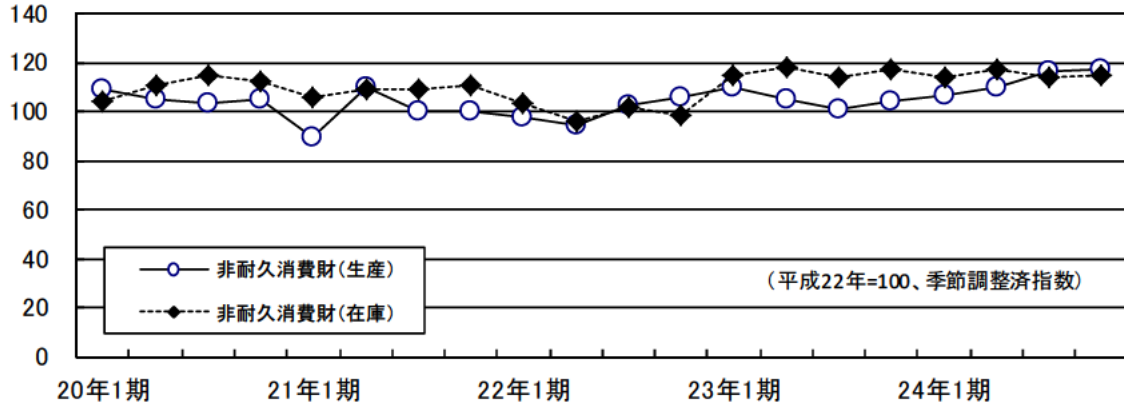
### 1-2-2 非耐久消費財

平成 24 年の非耐久消費財の生産指数は 113.3 で、対前年比 8.4%上昇しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 106.5（対前期比 2.5%増）、2 期 109.8（同 3.1%増）、3 期 116.0（同 5.6%増）、4 期 116.8（同 0.7%増）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 114.9 で、対前年比 0.9%低下しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 114.0（対前期比 2.6%減）、2 期 117.3（同 2.9%増）、3 期 113.6（同 3.2%減）、4 期 115.1（同 1.3%増）となりました（表 11）。



## 2 生産財

平成 24 年の生産財の生産指数は 112.8 で、対前年比 21.8%上昇しました（表 5）。

また、在庫指数の年平均は 113.3 で、対前年比 16.7%上昇しました（表 7）。

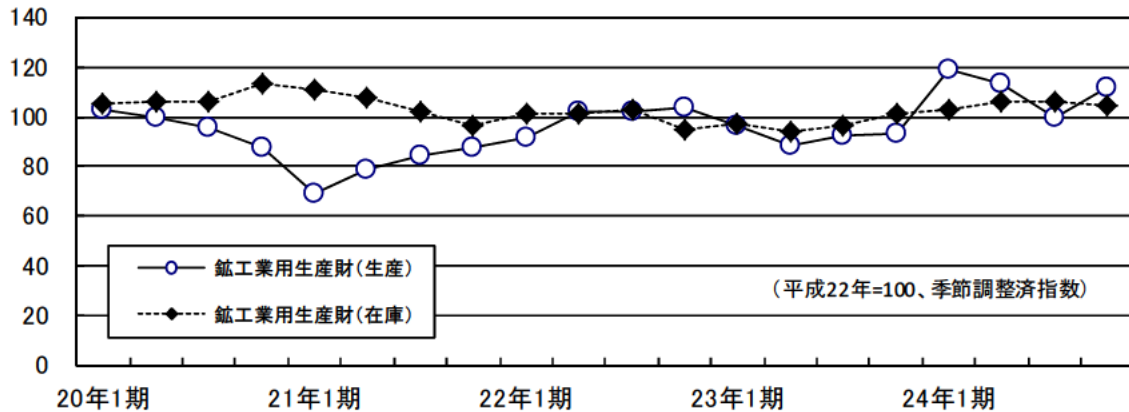
### 2-1 鉱工業用生産財

平成 24 年の鉱工業用生産財の生産指数は 111.0 で、対前年比 20.4%上昇しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 119.3（対前期比 28.3%増）、2 期 113.1（同 5.2%減）、3 期 99.7（同 11.8%減）、4 期 111.8（同 12.1%増）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 104.8 で、対前年比 7.6%上昇しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 102.7（対前期比 1.3%増）、2 期 106.4（同 3.6%増）、3 期 105.9（同 0.5%減）、4 期 104.2（同 1.6%減）となりました（表 11）。

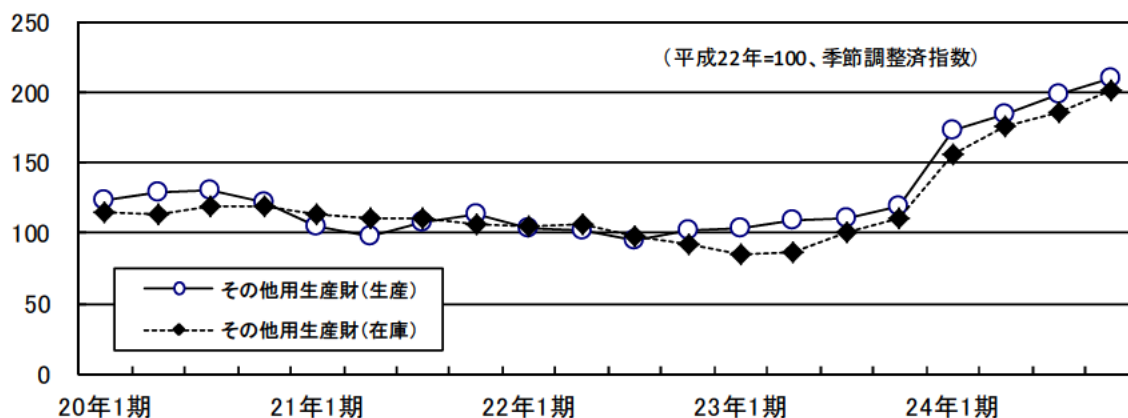


## 2-2 その他用生産財

平成24年のその他用生産財の生産指数は192.1で、対前年比75.8%上昇しました(表5)。四半期別にみると、1期173.1(対前期比44.9%増)、2期184.1(同6.4%増)、3期199.3(同8.3%増)、4期210.8(同5.8%増)となりました(表9)。

また、在庫指数の年平均は178.7で、対前年比88.5%上昇しました(表7)。

四半期別にみると、1期156.4(対前期比41.0%増)、2期175.3(同12.1%増)、3期186.5(同6.4%増)、4期200.9(同7.7%増)となりました(表11)。



### 「季節調整」 とは？

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の2種類がある事にお気づきでしょうか？

例年、年末年始のある12月、1月、ゴールデンウィークのある4、5月、お盆休みのある8月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、本当にそれを生産水準の低下と考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により1年を周期として変動するので、前月や前四半期との比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。これを「季節調整」といいます。